

「住みたくなるまち日本一」を目指して

富谷市記者会見資料②

平成30年1月30日

経済産業部

担 当：荒谷

連絡先：358-0524

「仮称・富谷市まちづくり産業交流プラザ」施設名称並びに愛称募集結果について

昨年11月28日開催の定例記者会見でお知らせいたしました、「仮称・富谷市まちづくり産業交流プラザ」施設名称並びに愛称募集を行なった結果、全国各地より多数の応募があり、先般開催した審査会において正式名称並びに愛称を決定しましたので、別添のとおりお知らせいたします。

なお、正式施設名称につきましては、平成30年第1回富谷市議会定例会へ設置条例案として議案を上程し、可決後正式な名称となります。

(仮称) 富谷まちづくり産業交流プラザ 正式名称及び愛称募集結果について

1 募集概要

- ・募集期間 平成29年11月6日(月)～平成29年12月15日(金)
- ・応募資格 市内外を問わずどなたでも応募できます。
※1人何点でも応募できます。
※応募作品は他の名称と類似せず、自作で未発表の作品に限ります。

2 応募状況

- ・応募人数 67名
- ・応募作品数 正式名称 230作品
愛称 240作品
- ・応募者属性 北海道、東北(宮城、秋田、岩手等)、関東(東京、神奈川、埼玉等)、
東海(名古屋等)、近畿(大阪、京都、滋賀等)、九州(長崎、熊本等)
全国各地より応募

3 審査

- ・審査日時 平成29年12月22日(金)午前9時30分(第1回目)
平成30年1月12日(金)午前9時30分(第2回目)
- ・審査委員 市長、副市長、教育長、企画部長、総務部長、市民生活部長、経済産業部長
保健福祉部長、建設部長、教育部長、市長公室長
- ・審査内容 ①正式名称は第1回目の審査会において、3作品を選定し、市職員全員を対象に投票を行い、その結果を参考とし、第2回目の審査会において最終決定を行なった。
②愛称については、第1回及び第2回目の審査会において審査員の協議により決定した。
- ・審査結果 富谷市議会平成30年第1回定例会関連議案審議後に、市公式ホームページや広報とみや誌面により発表します。
また、最優秀作品に選ばれた方は、施設開所式において表彰を行ないます。

4 審査結果

・正式名称

「富谷市まちづくり産業交流プラザ」

提案者 吉田慶嗣さん 秋田県秋田市
〃 田中康雄さん 埼玉県白岡市
〃 朝倉修さん 北海道札幌市
〃 亀郁雄さん 宮城県富谷市
〃 吉岡ありささん 長崎県長崎市
〃 吉岡みなさん 長崎県長崎市
〃 吉岡まみさん 長崎県長崎市
〃 小寺光雄さん 愛知県名古屋市
〃 赤羽和親さん 東京都世田谷区 (9名)

理由 工事着工時の仮称名称がそのまま施設の内容・目的・本質を表現していると思う。仮称に終わられるのはもったいなく正式名称としても十分通用する名称。

・愛称 「TOMI+」(とみぷら)

提案者 佐々木美香さん 富谷市日吉台在住

理由 「TOMIYAの生活にちょっとプラス」プラザでの交流を通じて富谷での暮らしや産業にちょっとプラスになる、そのような場所になってほしい。また、富谷市まちづくり産業交流プラザの名称略称ともなり親しみやすい。

改修工事進捗率 1月末現在 80%

